

石神井町

まちの環境と、暮らす人の感性が混じりあう

LIVING

石神井公園駅を中心に広がる「石神井町」。
駅周辺の商店街のにぎわいと、
閑静な住宅地とのバランスが魅力的なエリアです。
そんな石神井町で、まちの場を楽しみ活かす皆さんを訪ねました。

まちの人発の
活動スポット
中面で詳しく
ご紹介しています



発行 公益財団法人 練馬区環境まちづくり公社
みどりのまちづくりセンター

石神井公園の森っぽいイメージが
子どものころから好き！
トイレなどの設備も充実して、ますます
魅力的になっていますね (三輪さん)

▶ NATURAL SENSE BASE 10

石神井町は子どもがたくさんいる！
そして畑が近くにあることが
魅力です (知剛さん)

色んな団体が程よい距離感で繋がっていて、
個性が混じりあった香りがするのが
石神井の好きな所 (町田さん)

▶ 「井」 3・4・5

商店街の店は、
独自性をもって
やっているお店
ばかり。みんな
頑張っていますよ
(松村さん)

▶ 石神井町
二丁目通り
商店会 MAP 11



素敵な保護者のみなさんが共に見守る
とても穏やかなまちです。
公園には子どもの声が聞こえ、まちに
安全をもたらせてくれています。
(佐藤さん・井上さん)

▶ 公園づくりと
公園育ての会 MAP 1

石神井町は、社会的意義のある活動に
関心のある方が多い印象です (西村さん)

▶ PLAY! 高架下ひろば MAP 2

地域の方から
「自分たちもここで何かしてみたい」
という声をたくさんいただきました
(渡井さん)

小麦の食文化を味わえる 石神井町のお店

かつての練馬において、盆や祭りなどの
特別な日の食事を表す「朝まんじゅう
昼うどん 夜は田んぼの白い飯」という
言葉があります。これは、昔からよく小麦
が栽培されてきた武蔵野地域の粉食文化
を表す言葉でもあります。

まんじゅう



気楽な家 MAP 12

野菜まんじゅうの具は練馬大根の葉。
季節限定で登場するタケノコも区内産

うどん



エン座 MAP 13

武蔵野うどんの文化的背景を今に伝えるお店。うどん
に添える野菜 (種「かて」) などに区内産の野菜を使う

練馬産の野菜を活かしたピッツァ

ピッツェリア
ジターリア
フィリッポ MAP 14



メニュー表には大泉・石神井地域の農園の名前が。
大泉福祉作業所の手焼きせんべい (ブラックベッ
パー味) の監修もしている

石神井町を歩くと

まちに暮らす人々の感性が表れている空間に
出会うことができます

子どもたちが サッカーできる公園を

区立 みんなの広場公園

MAP
1

みんなのひろば公園は、区内でも珍しい、小学生以下の子どもたちが自由にサッカーを楽しめる公園。2010（平成22）年4月、地域の方々の取り組みによって実現しました。

この場所の前身は石神井幼稚園の第二園庭で、約30年間サッカーゴールが置かれていました。“学校も学年も違う数十人の子どもが集まり、ゴールに向かってボールを蹴っていました。大きな子が小さな子を気遣い、小さな子がその大きな子に憧れて成長していく。そして、ボールを蹴る力が強くなる中学生になると、近隣住居のことを考えてここではもうボールを蹴らない、というローカルルールを子どもたち自らが守り続けてきた場所（公園育て計画序文より抜粋）”でした。

新たに街区公園として整備されても、地

みんなの広場公園のあゆみ

- 2006（平成18）年 区による公園説明会開催
- 2007（平成19）年 みんなの広場住民協議会発足
- 2008（平成20）年 5月 まちづくり活動助成採択
ニュースを定期発行、掲示板設置

- 8月 NPO法人「公園づくりと公園育ての会」設立
- 11月 「施設管理型地区まちづくり協議会」認定
地域住民への説明・意向把握を積み重ねる

- 2009（平成21）年 10月 住民の意見を反映させた公園デザインに基づき、着工



- 2010（平成22）年 4月 開園
- 9月 区初の「施設管理型地区まちづくり計画」に認定
- 12月 サッカーゴール設置

遊具は最小限で、サッカー中心の広場と
多種の樹木が調和しています



委員 井上徹さん

「この公園が好き、見ていて楽しいです。公園の掃除をしてきた子どもは、ごみを捨てないと実感しています」

NPO法人 公園づくりと公園育ての会
理事長 佐藤恵子さん

「一朝一夕でできるものではなく、
歴史が紡いできた公園です」



幼稚園お迎え後に木陰でひと休み

域のシンボルとして親しまれてきたサッカーゴールのある公園を継承したいと、練馬区まちづくり条例に基づく「施設管理型地区まちづくり」制度を活用することに。協議会を立ち上げ、管理や利用に関する計画を地域の理解と協力を得ながら提案しました。現在も管理委員会を中心に、利用者

が清掃や見守りに協力しながら公園を運営しています。

子ども達にとっては遊び場でもあり、ごみ拾いなどを通じて地域社会との関わりを学ぶ場でもあります。近隣の皆さんも「子どもの声が聞こえる公園は安心」とお話しされるそう。この公園を中心に、多世代の地域住民が子ども達の成長を見守るコミュニティが育まれています。

公園利用のルール

- ・サッカー利用は、7:00～20:00
小学生以下のみ
※同伴の大人はOK
- ・サッカー教室は火・木曜日

公園づくりの経緯について、詳しくは「公園育て計画」をご覧ください



<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/jorei/teian/kouensodate.files/kouensodate.pdf>

駅周辺で知るまちの歴史



石神井公園駅

MAP
6

駅とは蒸気機関車の駅のこと。1915（大正4）年の武蔵野線石神井駅（現・西武池袋線石神井公園駅）開業を記念し、1920（大正9）年に建てられた。銘文には、石神井城・三宝寺池・長命寺などの歴史や見所が記されている。



変わりゆく 石神井公園駅

MAP
7

石神井公園駅北口では、再開発によって2002（平成14）年に広場と高層タワーができた。2011（平成23）年には現在の高層ホームが完成。2020（令和2）年には駅南口地区の再開発事業が都市計画決定され、2024（令和6）年から解体・建築工事が行われている。



お庭の樹木を 活かした道

MAP
8

石神井川に下る坂道に、クスノキやモチノキ、モミジなどの樹木が植えられている。以前は民家の庭だった場所に道路を整備することになった際、元々あった樹木が活かされ、以前の面影を残す景観が作り出されている。

西武線高架下の活用を、地

PLAY! 高架下ひろば

MAP
2

石神井公園駅から下り方面へ、8分ほど歩いた高架下に、緑に囲まれた広場があります。「自然と建築」をテーマとした作品を手がける、石神井在住の建築家、武田清明さんにより設計されました。

西武不動産が、砂利敷きの未利用地だったこの場所の活用方法を、地域の方々とともに考えようと、「PLAY! 高架下」プロジェクトが始まったのは2022（令和4）年3月のこと。

イベントアイデアを一般募集し、地域活動団体「glamconnect+」が提案した、サステナブルをキーワードにイベントなどを試行し、「イベントを定期開催してほしい」「高架下の空間を使ってみよう」と



としえんの樹木が
ベンチに生まれ変わりました



まちのシンボルはやっぱり

石神井公園



地元有志が生んだ駅と公園の発展

1915（大正4）年の武蔵野鉄道石神井駅（現・西武池袋線石神井公園駅）が開業し、地元の有志は絵はがきやガイドブックを作り、観光案内に力を入れます。さらに、日本初の100mプールや、三宝寺池の横に人造の「石神井池」も造成しました。こうした風光明媚な情景は、高浜虚子な

ど多くの文人に愛され、三宝寺池のほとりにあった料亭などに集まり句会が開かれたそう。そんな環境が当時増えていたサラリーマンに宣伝され、この地に移り住む人が増えたとか。

地元有志によってつくられた環境が、戦後に都立公園として整備され、現在に至っています。

パークロード石神井

石神井公園商店街
振興組合

MAP
9

石神井公園駅南側に広がる商店街。今年で75回目を迎える石神井公園ポート池での「納涼灯流しの夕べ」、3月と10月に地域の商店・団体と開催する「チルコロ石神井つどいの広場」など、石神井のまちを楽しむイベントを年間を通じて企画・開催しています。

灯流しの様子▶
（2009年/素敵な風景100選より）

最新のイベント情報は
ホームページ「石神井
ねっと」をご覧ください
<http://www.shakujii.net/>



自宅をひらいてコミ

NATURAL SENSE BASE

ここは、自然・ありのままの感性を大切にしたい体験や「知ってもらいたい」情報を地域に発信する基地のような場所。元小学校教員の瀧島三輪さん・学習塾を運営する知剛さん夫妻が約1年前から自宅を地域に開いています。

大きなきっかけになったのは、コロナ禍での暮らしの変化でした。自力で庭を整備し、子ども達と畑作りをスタート。練馬の個性ある畑とコラボした料理教室や焼き菓子販売・カフェ、屋上でのヨガ、茶道教室、小学生向け補習教室など、人との巡り合わせから生まれた多様な場が展開されています。

活動の土台となったのは、約

地域とともに

いう声が集まったことから、2024（令和6）年7月、地域に開かれたこの広場がオープンしました。

植栽のキーワードは「多様性」。様々な色形の植物で彩られています。「お手入れの時にレモンやオリーブの実を見つけるのも楽しみ。四季折々に変化する表情を見てほしい」と西村さん。

「地域の方の参加」も重要なポイント。



月1回のお手入れ会「PLAY!GREEN」には誰でも参加できるほか、線路に降った雨水を利用したポンプで、いつでも水やりを体験できます。「植物をきっかけに日常的に広場を訪れた方がこの広場に愛着を持ち、自分も使いたい！という気持ちにつながれば嬉しい」と渡井さん。ここで芽生える、新たな賑わいの風景が楽しみです。

ひろばで見られる植物たち



ティーツリー
葉っぱがお茶に



レモン
10～3月に実がつく



フェイジョア
葉の裏がふわふわ
実は食用に



ブルーベリー
実も花も楽しめる



▲水やりできる手押しポンプ
▲黄葉のコデマリや
銅葉のトクワマンサクの
組み合わせがすてき

西武不動産
西村さん・渡井さん

自分たちのまちを、自分たちでおもしろく

井のいち・森の JAZZ 祭

2003（平成15）年に石神井町でギャラリーを開店した町田顕彦さん。「石神井公園を中心に、こだわりを持ったお店による『ゆるい』つながりをつくり、自分たちのまちに愛着を深めたい」という思いから、地域の仲間とフリーペーパー「井」を発行しています。

また、年に一度「井のいち」と「森の JAZZ 祭」を開催しています。「井」の発行仲間との酒席で発案された「井のいち」は、縁のあった石神井氷川神社で2011（平成23）年に1回目を開催。当日は大雨で、運営はご家族を中心に行ったそうですが、その後、運営に関わる地域の人や参加するお店が増え、今年で14回目を迎えました。毎年多くの人で賑わい、「井のいちが石神井に住む決め手になった」という方もいるそうです。

「森の JAZZ 祭」はグラフィックデザイ

ナー・写真家の故・田崎はじめさんの「森の中でグランドピアノを演奏してほしい」という思いから始まりしました。石神井氷川神社での「JAZZ RESONANCE」を経て、2017（平成29）年に練馬区独立70周年記念区民協働事業イベントとして「森の JAZZ 祭」が採択。田崎さんはその準備中に急逝されましたが、思いを継いだ「井」のメンバーによって1回目石神井公園の野外ステージで開催され、現在まで続いています。

「活動は大変だけど、個と個がつながっていくことが楽しい」と町田さん。「これからは『まちを自分たちで良くしたい、皆で考えてまちを作っていく』という思いを次世代に繋げていきたい」とのことです。

町田さんのお店
knulpAA gallery

MAP
3



▲イベント情報などは
インスタグラムで
@play_koukashita

シャカイノアート

まちづくり活動の団体とつなぐおもしろい場所を紹介！

みんなで作る
まちの
百科事典

アート活動で 人とつながり、場をつくる

アートを通じて人がつながる場をつくりたいと、都内のギャラリー等で展示活動をメインに行ってきた「シャカイノアート」。2024（令和6）年度から「まちづくり活動助成」を受け、地域での活動に取り組んでいます。そのひとつが、都立石神井公園のオープンと広場で月3回ほど開催されている「石神井プレーパーク」の一角でのワークショップ。主に子ども達を対象に、絵具や粘土などを使って各々の興味の赴くまま自由に創作できる場をつくっています。「子ども達を見守る保護者や高齢者の方など、いろんな方と会話が生まれるのを実感しています」と代表の平山さん。来年5月には石神井公園野外ステージでの「みどりの芸術祭」開催を目指しています。



石神井プレーパークでの
アートワークショップ



みどりの芸術祭（2025年3月開催）

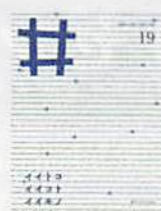
【連絡先】nac1993thenude@gmail.com
https://www.instagram.com/shyakainoart/



石神井公園野外ステージでの「森の JAZZ 祭」 MAP
4



石神井氷川神社での「井のいち」 MAP
5



フリーペーパー「井」
町田さん、絵描きの小関セキさん、
故・田崎はじめさんにより創刊。
石神井・大泉エリアを中心に
こだわりのあるお店などを紹介。
最新号は19号
※WEB版もあります



Instagram ▲
@i_inoichi

ユニティスペースに

MAP
10

40年前に三輪さんのお母さんが友人の声に応じて始めたマクロビオティック料理教室です。三輪さんが10歳のときには子ども向けの料理教室「キャベツクラブ」が誕生しました。

「身土不二（身体と土地は一体）」の考えや「発想、思いつき」を大切に、季節の恵みを活かした活動が魅力的です。

ジャムなどの
販売も

梅シロップ・梅酒づくり

瀧島
三輪さん

知剛さん



白い壁に植物が映える。知剛さんが独学で作り上げた
みどりのしつらは、道行く人も楽しめます



石神井町の助産所取材した
映画『1パーセントの風景』
上映後のトークショー



Instagram
@natural.sense.base

今年はお近所の畑、
トヨタナーサリーの
赤ジソを使った
シロップも作る予
定だそう

石神井町二丁目通り商店会

MAP
11

石神井公園駅の北側、スーパーの西友があった通りの商店街は、今年で創立40周年を迎えます。はじめは、精米店、生花店など数店舗が軒をつらねる通りでした。現在では落ち着いた雰囲気ながらも人の絶えない人気店も多い、「静かなにぎわいのある通り」になっています。

「商店街は全体を一つのマーケットだと思っています」と、会長の松村敏夫さん。不動産仲介業を営む松村さんは、商店街でお店を開きたいという店主の仲介をすることもあります。どんな商いをするのか、お店ごとの思いやスタイルを尊重しながら「お店が盛って（盛り上がって）ほしい。

だから、気楽にアドバイスというか、余計なことを言ってしまうんです」と笑います。「これから小売店は独自性をもつことがさらに大切な時代。難しさはあるけれど、同じ街にいる者同士、敵味方じゃなくて『お互い頑張ろうや』の精神が大事だと思っていますね」と語る言葉に、若い世代へのエールがにじみます。

松村敏夫さん
住まいを探しに来たお
客さんに、商店街のお
店をおススメすること
も多いそう。



まちの掲示板

令和7年度まちづくり活動助成【たまご部門】の助成申請団体を募集します

この助成事業は、区民の方々が「住み続けたい」と思えるような、美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するため、区民主体のまちづくり活動を支援し、活性化することを目的としています。

対象期間：助成交付決定日から
2026(令和8)年 3月31日まで

申請期間：10月14日(火)まで

応募資格：メンバーが3人以上、かつメンバーの1/3以上が区内在住・在学もしくは在勤であり、区内を対象に活動する団体

助成額：助成対象経費 10万円以内

事前相談をお受けください

助成申請する団体は事前相談が必須です。窓口ほかオンラインでもお受けいたします。

事前相談期間：9月16日(火)まで

【問合せ先】みどりのまちづくりセンター

助成の対象

まちづくり活動を始めるにあたっての学習・調査、アイデアの試行など



▲多彩な人々との連携を深め、援農活動を通じて区内の農地保全をめざす「ねりま農隊」



▲拠点の庭で、みどりとふれあい交流する場づくりに取り組む「コモンリビング ototoio」

まちづくり活動助成案内ページ
(<https://nerimachi.jp/>)



練馬みどりの人材バンク ボランティア登録のご案内

みどりを守り育む活動に参加しませんか？



緑地のお手入れ



花壇の植え替え



落ち葉掃き

登録対象者：練馬区のみどりを守る活動に関心がある方(中学生以上)

登録の有効期限：最長2年間(更新可)

登録申請方法：右記の二次元バーコードから応募できます。申請書のダウンロードも可。



ご登録いただくと…

- ・みどりの活動情報をメールでお届けします
- ・ご希望に応じて、活動団体をご紹介します
- ・ボランティア保険に加入(費用負担なし)

【問合せ先】みどりのまちづくりセンター

「こもれび」のあるお店 MARIMO Café65



お店の方に聞きました

●こもれびについて

地元の方に手渡しています。他地域のMAPをみて、新たな発見を楽しんでいるようです。

●お店とまちとの関わり

「文化あふれるまち」とアート展示スペースがあるカフェを営んでいます。オーナー自身も音楽やアートに親しんでいるねりまっ子。小さい頃から利用している無人直売所の野菜を使って、カレーを提供しています。

●お店情報

住所 練馬2-1-10(井田通り居酒屋「希望の星」脇)

営業日時(月・金)12:00~18:00

(水・土or日)12:00~20:00

SNS <https://www.instagram.com/marimocafe65/>

練馬区空き家地域貢献事業

あなたの空き家を、まずは、活かしませんか？

地域コミュニティの活性化や地域課題の解決等につながる公益的な目的の空き家活用を支援します。物件を貸したい所有者と活用を希望する団体等の登録、マッチング、空き家の改修等費用の助成、アドバイザー派遣などを行っています。



【問合せ先】みどりのまちづくりセンター(練馬区空き家活用相談窓口)

空き家なんでも相談会毎月開催！ (無料・予約不要)

空き家に関するお悩みについて、様々な専門家にワンストップで相談できます。

日程：7月28日(月)/8月25日(月)ほか
時間：10:00~12:00(11:30受付終了)

会場：練馬区役所本庁舎1階 アトリウム

参加専門家団体：

- ① 東京司法書士会
- ② 東京都行政書士会
- ③ 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会
- ④ 公益社団法人 全日本不動産協会 練馬支部
- ⑤ 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 練馬支部
- ⑥ 東京土地家屋調査士会 練馬支部

開催日より、
参加専門家団体が
異なります。
詳細はこちら→



まちセンスタッフの気ままなコラム

まちづくりのツボ

集団回収

—環境と地域を守る取り組み



吉村 愛

資源の「集団回収」について知っていますか？この取り組みは、町会、自治会、PTA、マンション管理組合などの団体が主体となり、家庭から出る古紙やびん、缶などの資源物を取りまとめてリサイクル業者へ引き渡す回収方法です。回収量に応じて練馬区から団体へ報奨金が支払われます。区にとっても、回収経費の削減につながり、団体にとっては、報奨金で地域を活性化することにつながります。

この取り組みに参加することで、私たち自身の意識の転換を促し、ごみ資源の適切な分別・減量と資源化を促進する「環境」の取り組みが、より広がることを願っています。

資源の「集団回収」について知っていますか？この取り組みは、町会、自治会、PTA、マンション管理組合などの団体が主体となり、家庭から出る古紙やびん、缶などの資源物を取りまとめてリサイクル業者へ引き渡す回収方法です。回収量に応じて練馬区から団体へ報奨金が支払われます。区にとっても、回収経費の削減につながり、団体にとっては、報奨金で地域を活性化することにつながります。

建築無料相談をご利用ください

毎月第4月曜日に、建築士が住まいに関する様々なご相談にお答えします。

日程：7月28日/8月25日/9月22日/10月27日

時間：10:00~14:00

会場：練馬区役所本庁舎1階 アトリウム ※日時および会場を変更する場合があります。

【問合せ先】(一社)東京都建築士事務所協会 練馬支部 ☎090-4666-7517

みどりのまちづくりセンター

nerima machisen

<https://nerimachi.jp/>

こもれび読者の声

前号特集「ねりま産の花がある風景」に多数のご感想をお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

> 60代Dさん(大泉学園町)より
自転車で楽しめる情報が嬉しかったです。練馬区は、東西長いので、何日かけて、練馬の花壇巡りをしたいと思いました。花が豊富な練馬区を益々好きになりそうです。

> 20代Sさん(北町)より
練馬区に農地が多いことは知っていましたが、これほど四季折々の鮮やかな花々に恵まれていることは知りませんでした。散歩が趣味なので、季節ごとに直売所を訪れたり花壇を見に行こうと思います。

> 30代Yさん(下石神井)より
公園の花壇づくりをされているボランティアの活動も知れてよかったです。花壇には生き物(蝶・てんとう虫・バッタ)を見つけることも多くお花を愛でながら、虫も見つけられて子供と楽しんでいます。ボランティアの皆様のおかげで、綺麗な景観、生き物が育まれているんだなとよくわかりました。

こもれびバックナンバー(ホームページからもご覧いただけます)

83号「ねりま産の花がある風景」
82号「みんなで歩いた 小竹町の公園たんけん」
81号「夕日の似合うまち 富士見台を感じる散歩道」

42号「石神井の
オアシス暮らし」
も公開しています

ご希望の方は、みどりのまちづくりセンターまでお問合せください。

制作・発行・お問合せ

(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター

〒176-0012 練馬区豊玉北5-29-8 練馬センタービル3階 【開室時間】土日・祝日を除く 9:00~17:00

☎・FAX: 03-3993-5451

X(旧 twitter):nerimachi

Facebook:nerimachi.jp

Instagram:nerimachi

●みどりのまちづくりセンターのホームページ「アクセス・お問合せ」内のメールフォームからもご連絡いただけます。

- みどりのまちづくりセンターでは、ネリまらしい魅力的なまちを実現するために、様々なまちづくりのきっかけを提供したり、活動のサポートをしています。
- こもれび最新号は、練馬区内全駅/公共施設/練馬区役所1階アトリウム/区内の相談情報ひろば/みどりのまちづくりセンター窓口等で配布しています。

「こもれび」にご協力いただいた方に、抽選で図書カードをプレゼント

A B のいずれかにご応募いただいた方の中から合計10名様に、図書カード500円分をプレゼントいたします。

【A】84号アンケート

下記①~⑤の回答をお送りください。

- ① こもれびを入手した場所
- ② 今号のご感想
- ③ 今後取り上げてほしいテーマ(複数回答可) 1.地域の防災 2.景観 3.農地 4.みどり・いきもの 5.バリアフリー 6.子育て 7.まちの歴史 8.商店街 9.まちづくり条例 10.地域のブランドづくり 11.その他
- ④ その他ご意見をお聞かせください
- ⑤ お名前・年齢・住所(景品をご希望の方)

【B】次号特集のための情報提供

次号の記事づくりの参考とするため、情報をお寄せください。

- ①~②はいずれか1つの回答でも可
- ①「この地域といえばコレ!」という場所、歴史、人物など
- ② みんなに知ってほしいまちづくりやボランティアの活動
- ③ お名前・年齢・住所(景品をご希望の方)

※1 応募は一人様1通まで。当選者の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。

※2 景品は、当選者に応募締切から約4週間程度でお送りします。

※3 ご提供いただいた個人情報は、図書カードの発送とアンケートの集計以外に使用することはありません。

次回予告

中村 特集です

発行 2025(令和7)年 11月15日(予定)

【送り先】

みどりのまちづくりセンター

FAX:03-3993-5451

※ホームページ(<https://nerimachi.jp/>)からも応募できます

【応募締切】8月29日(金)

●まちづくり情報誌「こもれび」配布協力店

《石神井》 knupAA gallery (石神井町1-21-16)/ 気楽な家 (石神井町8-42-4) ※今号のみ/ 次世代型個別塾 Nobiluvu(石神井1-7-15) ※今号のみ/ NATURAL SENSE BASE(石神井町8-30-8)/ たつの湯(石神井台6-19-26)/ ブレッド&カフェハーベスト(石神井台5-28-23)/ カフェグリーンテイル(石神井町1-2-9)/ ちょっとした cafe PATISSIEReco 房(上石神井1-39-10)

《田 柄》 光が丘美術館(田柄5-27-25)

《平和台》 New! 内田園芸(練馬区平和台1-23-5)

《貫 井》 はなんちゅ(貫井1-7-2)

《桜 台》 にだいら整骨院(桜台1-5-4)/ ミートショップ太田屋(桜台5-39-23)/ New! カットハウスつかはら(練馬区桜台3-29-18)

《高野台》 お茶の間図書館 深雪庵(高野台5-37-11-3F) / New! まあるカフェ(高野台5-25-24)

《武蔵関》 実川珈琲(関町北4-4-3)

…全63カ所配布中。こもれびを置いてくださるお店、募集中!

こちらから
メールフォーム
にアクセス可

